無料でご利用になれます！

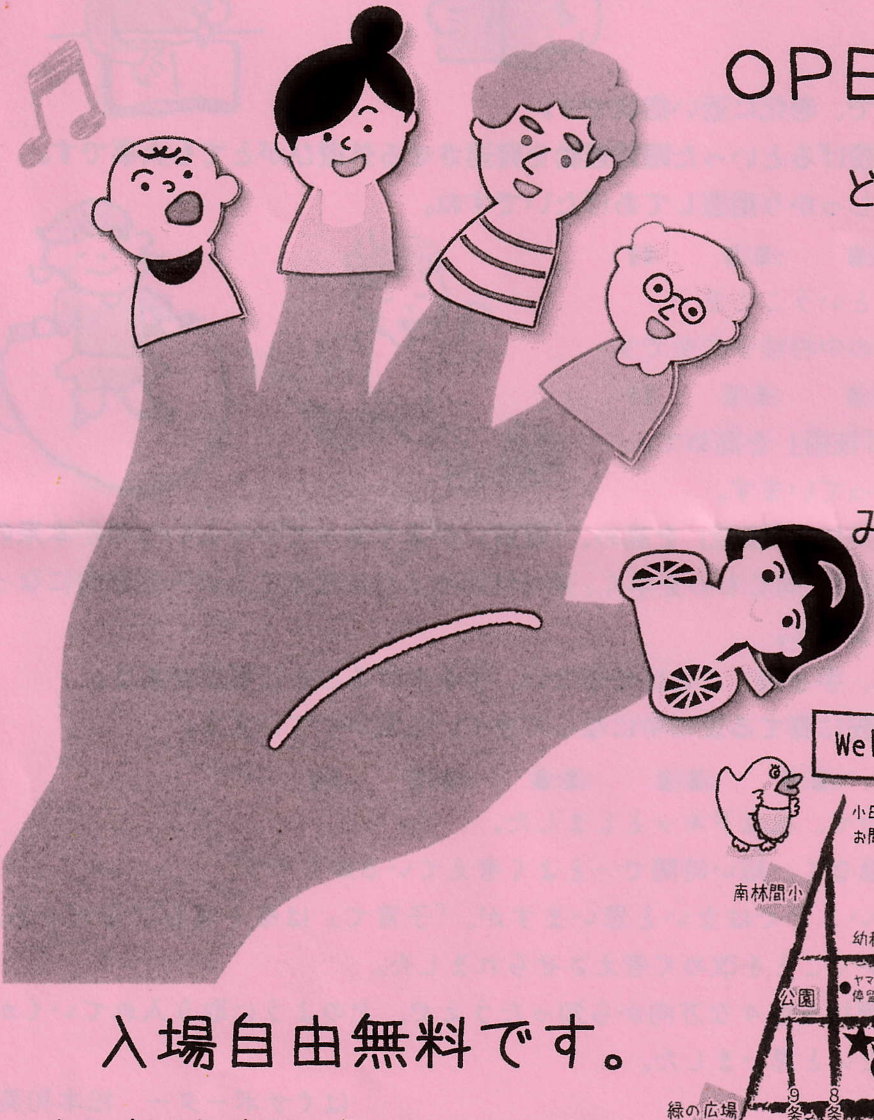
8月号 みんなのはぐくる～む

みんな一緒　いつも一緒
みんな違って　みんないい

認定ＮＰＯ法人　地域家族しんちゃんハウス
〒242-0006　神奈川県大和市南林間7-1-15
TEL：046-275-7955
Mail：info@shinchanhouse.com
Mail

※8月は放課後児童クラブの子供達が夏休みのためCLOSEです。

２０２０年度５月より「みんなのはぐくる～む」がスタートする予定でしたが、コロナ禍により思うようにスタートを切れず、７月よりゆっくりまったりOPENいたしました。まだまだスタートしたばかりで、知らない方も多いと思います。どなたでもご利用になれますので、お散歩がてらいらしてくださいね！！９月よりまたお待ちしております。現在、看板のタペストリーも作成中！！お楽しみに♪

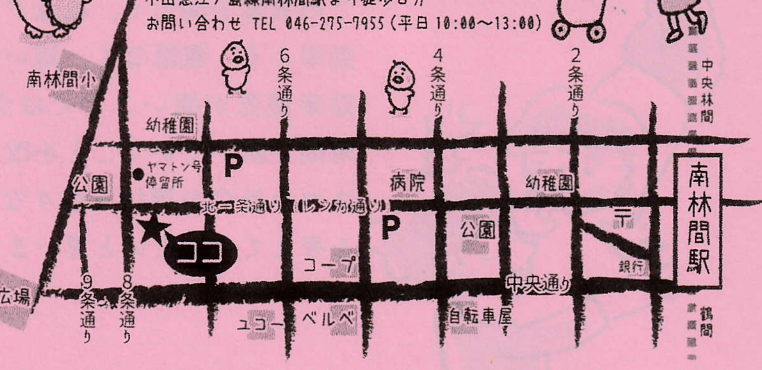


OPEN／10:00～13:00

どなたでもご自由にどうぞ！
親子連れの方、
高齢者の方、
外国の方、
ハンディをかかえている方
み～～んなが利用できます！

入場自由無料です。

大和市協働事業　「はぐくねっと」拠点



第10回子どもとメディア全国フォーラム
『スマホ社会と子どもの未来』に参加しました！

２０２０年１月に開催された『スマホ社会と子どもの未来～技術革新は人類を幸せにするのか～』という講演会に参加してきました。
この講演会では、脳科学、精神科、眼科、生物化学の先生方が専門分野で、スマホ社会で子ども達に感じている気になることを解説してくださいました。簡単ですが、眼科と生物化学の先生のお話の紹介と感想をシェアいたします。ユーチューブやゲームをスマホで見せる時に、目にどんな影響があるのか？　平和眼科院長富田香先生が「子どもの目の発達」について話をしてくださいました。

乳幼児期から小学校に上がる前までが、子どもの目の発達にとってとても大切な時期です。
この時期に、スマホを見続けることで、ピント合わせや眼球運動の発達が悪くなってしまう可能性は否定できません。
今、こんな症状の子どもが増えています。

- **音読ができない**
- **行をとばして読んでしまう**
- **同じ行を２度読む**
- **黒板の文字を書き写せない**

これらは、年配の方にもみられる症状で、老化に近い症状です。
子どもの目の発達には、走る・飛ぶ・投げるといった眼球運動を発達させる外遊びがとても大事です。
子どもにはスマホではなく、外遊びをしっかり用意してあげたいですね。

そして、ヒトは生きものの一員であるということを強く言われていたのが、生命誌研究者の中村桂子先生です。

現代は、「経済」をよくするために「技術」を高めて、「生命（生きる力）」を脅かす流れになっています。
でも、「生命（生きる力）」をのばすために、「技術」を高め、「経済」がよくなっていくというのが本来の流れです。ヒトは、利便性を追求しすぎて、同じものを早く、楽に作れるようになることに一生懸命になってきたけれど、生きものは早くはできません。
生きることは時間を紡ぐことだから、手を抜くことはできない。手をかけることに喜びがある。
それなのに、子どもに対しても効率優先に育てる世の中になってきている気がしています。

この言葉を聞いて、私はドキッとしました。
効率よく、無駄なく、短い時間で…とよく考えているからです。
効率優先が悪いことではないと思いますが、「子育て」は命を育むことだから、時間を紡いでいくことを改めて考えさせられました。
スマホ社会の現状を色々な方向から知ったうえで、どのように取り入れていくかを考えていきたいと思いました。

はぐサポーター　松本和美

イラスト／フジコ